

民間活力イノベーション推進下水道事業計画  
(大分市下水汚泥燃料化事業)

(1) 事業の概要

- ・事業主体：大分県大分市
- ・事業名称：大分市下水汚泥燃料化事業
- ・事業方式：DBO事業
- ・事業期間：
  - ① 設計・建設期間 令和4年2月初旬 ～ 令和6年3月31日
  - ② 維持管理・運営期間 令和6年4月1日 ～ 令和26年3月31日

(2) 事業の位置

大在水資源再生センター（大分県大分市大字志村2500番地の1）

(3) 事業の目標

本市、5箇所の下水処理施設において発生する汚泥は、日当たり約80tであり、今後も下水道整備に伴い、汚泥量の増加が見込まれ、汚泥処分費用の増大や単一方法による処分のリスクが大きな課題である。

現在、発生汚泥は、セメント原料化（民間施設）により有効利用しているが、単一方法による、処分費の高騰や突発的な故障等による受入停止のリスクが懸念されるため、リスクの分散を図るとともに、燃料の代替による温室効果ガスの削減、さらには高騰する汚泥処分費の削減を目的として下水汚泥燃料化施設を設置する。

また、施設的设计・建設と維持管理運営を一体で行うDBO方式の事業とすることで、安定した汚泥処分のリスク管理やコスト削減を図る。

併せて、周辺自治体からの汚泥も受け入れることで、広域化・共同化を図る。

(4) 事業内容及び年度計画

- ・事業内容：下水汚泥燃料化施設整備
- ・年度計画：以下のとおり

事業主体	主な事業内容	R3	R4	R5	R6	R6以降
大分市	施設整備	→				
	維持管理					→

(5) 補助金の算定根拠

事業費（建設に係るもの） 3,994,000,000 円 (R4～R6)

(6) 費用効果分析の結果

B/C（現在価値化後）：1.2

※建設費用および維持管理費（44年間）にて算定